

平成28年5月19日
四国電力株式会社

第1回 廃止措置研究に係る検討会実施結果概要

当社では、今後の伊方発電所1号機の廃止措置に備え、題記検討会を設置し、本日、伊方発電所において第1回目の検討会を開催いたしました。

以下に、本日の検討会の状況および検討会の概要についてお知らせいたします。

当社としましては、本検討会の状況も踏まえながら、安全確保を最優先に廃止措置に取り組んでまいります。

【第1回検討会の状況】

以下項目について議論・確認を行った。

- 伊方発電所1号機の概要および廃止措置の手順等について確認
- 廃止措置に係る既存技術の整理
- 研究開発分野の選定
 - ・廃止措置のステップを踏まえ、早期の対応が効果的である、除染技術、解体技術および防保護具の範囲とする。
- 既存技術の改善を図るための課題・ニーズの抽出
 - ・被ばくや危険作業から防護する防護衣・防護具等
 - ・除染・解体時に発生する粉じんの処理
- 第2回検討会に向け、廃止措置に係る研究のニーズと大学・企業が保有する技術とのマッチングを図っていくことを確認。
- 第2回検討会の内容
 - ・マッチング結果の確認
 - ・課題解決に向けた方向性の確認
 - ・研究実施箇所の選定
- 伊方発電所1号機の現場を視察し、廃止措置の作業や廃止措置に係る研究のイメージを高めた。
 - ・タービン建家、原子炉補助建家、原子炉格納容器の全景
 - ・タービン建家、原子炉補助建家、原子炉格納容器内（機器、配管、コンクリート等）
 - ・中央制御室
- 第2回検討会の開催時期（平成28年8月頃）

【検討会の概要】

〔名 称〕 廃止措置研究に係る検討会

〔目 的〕 今後の伊方発電所1号機の廃止措置に備え、PWR（加圧水型軽水炉）プラントの特徴を踏まえた既存の廃止措置技術に係る課題を抽出し、その課題を解決するために必要となる技術を整理するとともに、国、地元企業および地元大学等との連携の在り方について検討し、廃止措置への適用に向けた研究開発を行う。

〔事務局〕 原子力本部 原子力保安研修所

〔メンバー〕 当社を中心に、以下の機関が参画

- ・ 国（資源エネルギー庁）
- ・ 愛媛県（県民環境部 防災局）
- ・ 愛媛県産業技術研究所
- ・ 愛媛大学（社会連携推進機構 産学連携推進センター）等

〔検討スケジュール〕

第1回の検討会において、廃止措置に係る既存技術の整理、研究開発分野の選定および既存技術の改善を図るための課題・ニーズの抽出を実施する。

その後、抽出された課題等に関して地元企業・地元大学が保有する技術の活用とその高度化について研究開発を行うとともに、中長期的に取り組むべき課題の抽出とその解決に向けた研究・技術開発の計画を固める（平成28年度については、4回程度の開催を予定）。

【原子力本部 原子力保安研修所長コメント】

国、愛媛県、愛媛大学に参画いただいた検討会において廃止措置に適用する技術にかかる課題を抽出し、その解決策の研究開発を進めてゆくとともに、廃止措置の実施に当たっては安全を最優先として取り組んで参りたい。

以 上